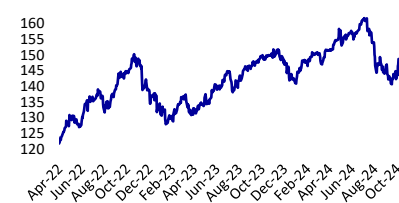


市場動向

■USD/TWD



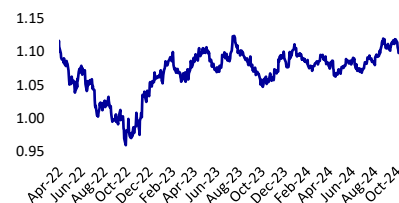
■USD/JPY



■JPY/TWD



■EUR/USD



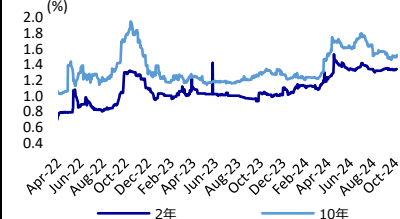
■USD/CNH



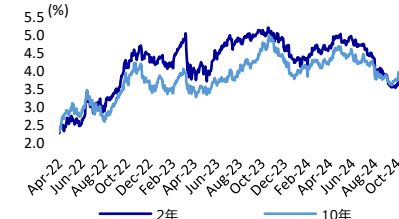
■台湾加権指数



■台湾国債利回り



■米国債利回り



先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは上昇。週初9/30は、31.630でオープン後、前週末海外時間に発表された米8月PCEが市場予想を下回る軟調な結果となったことを受けて米金利が低下する中、ドル売りが優勢な展開となり一時31.560まで下落した。しかしその後、石破氏による自民党総選勝利を受けて日本株が急落する中、台湾株も連れ安に。外国人投資家による台湾株売りがまとまって見られ、31.60台半ばまで上昇した。10/1は、前日海外時間にパウエル議長より、今後の利下げについて「時間をかけて進めるものだ」と言及されたことを受けて米金利が上昇する中、ドル買いが進み31.80台半ばまで上昇。10/2、10/3は台湾休場。10/4は、前日海外時間に発表された米9月ISMサービス業景況感指数が市場予想を上回る堅調な結果となったことを受けて、ドル買いが優勢な展開となり一時32.042まで上昇。引けにかけては輸出業者による外貨売りが見られ、31.90台後半まで下落。最終的には前週比0.9%ドル高台湾ドル安の31.963で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は719.7億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は上昇。週初9/30は142.14でオープン後、前週末に実施された自民党総選における石破氏の勝利を受けて、日銀による金融緩和と撤廃が意識され、円買いが進み一時141.65まで下落した。しかしその後、一部報道機関に対して石破氏が「金融緩和の方向性は維持していかなければならない」とのスタンスが示されたことで円が売り戻され144円近辺まで上昇。10/1は、海外時間に発表された米9月製造業PMI、米9月ISM製造業景況感指数が市場予想を下回る結果となったことを受けてドルが売り戻され、143円台半ばまで下落。10/2は、石破首相と日銀植田総裁の会談以降、石破首相より「日本は利上げする環境にない」との発言が聞かれたことで円売りが進み146円台前半まで上昇。10/3は、海外時間に発表された米9月ISMサービス業景況感指数が市場予想を上回る堅調な結果となったことを受けてドル買いが進み147円近辺まで上昇。10/4は、海外時間に発表された米9月雇用統計において、非農業部門雇用者数、失業率、平均時給が市場予想対比良好な結果となったことを受けて米金利が急騰。ドル買いが加速し、一時149.01まで上昇した。最終的には前週比4.4%ドル高円安の148.46で先週の取引を終了。

今週の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：32.100-32.400

今週は底堅い推移を見込む。米経済腰折れ懸念が後退する中、米金利が上昇する場合、ドルが買われやすいであろう。

■USD/JPY 予想レンジ：147.50-150.50

今週は底堅い推移を見込む。米雇用市場が堅調なことが確認される中、米金利が上昇しやすい一方、日本においては金融緩和維持を示唆する発言が聞かれる状況下、日米金利差が再度拡大に転じる場合、ドルが買われやすいであろう。

今週の予定

10/7 (MON)	
10/8 (TUE)	台湾9月CPI、台湾9月PPI、台湾9月貿易収支
10/9 (WED)	
10/10 (THU)	日9月企業物価指数、米9月CPI
10/11 (FRI)	米9月PPI、米10月ミシガン大消費者景況感指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。